



【沖学級】

「お母さん、時間ですよ」

「おばあちゃん行ってらっしゃい」

嫁や孫にせき立てられて私のお稽古は始まりました。最初の気持ちは、惚け防止にと始めたことでしたが、今では生活の中心になっているほどです。

お稽古の日は、道々友人を誘い合い、沖公民館で大正琴の練習に励みます。しかしながら、老年ゆえに記憶力は低下し、両手を同時に使うのはままならず、唇を噛むこともしばしばでしたが、皆さんに励まされて進み、綺麗な音色で演奏できるようになったときは、手を取り合って喜びたい思いました。それも川村先生の熱心なご指導があったからこそ感謝しています。

沖学級も今年で六年目を迎えました。「継続は力なり」の言葉どおりいろいろな曲が弾けるようになりました。また、川村先生のご高配により、府中の芸術の森劇場で、鈴の音会発表会の大舞台で演奏させていただきました。大勢の集まる場所は私にとっていろいろ圧倒されることばかりでしたが、毎回学ぶことが多く貴重な勉強と体験をしています。

昨今長寿社会といわれていますが、ただ長寿というだけでは貴からずです。皆「芸能大会」さんから頂いたお知恵を人

芸能大会



沖学級の皆さん

のため、家庭のために少しでも役立てて、何かほかに貢献できる生きがいを感じられる老齢でありたいと願っています。

問合せ 安富たか系 ☎(43) 4685

【ちゅうりつ学級】

私たち、ちゅうりつ学級は命と縁を守りたい。家族の健康と暮らしを守りたい。なんでも話せる友達が欲しい。そんな女性の願いをかなえるため活動しています。

今何をしたいのか、お互いに要求を出し合いサークルを作っています。

「子どもが園にいらったころ、父の日に親子で灰皿を作った楽しかった」「自分で好きな陶芸が作れるって、是非作ってみたい」など、陶芸に興味のある人が集まりました。

まず講師探し、公民館活動で活躍なさっている渡辺長重先生をお願いし、市の陶芸室の使用許可をいただき、一昨年春、スタートしました。

会員は三十代から六十代の十名が参加、第一回の陶芸教室を心待ちにしていました。いよいよ待望の陶作の日を迎え、長重先生のユニークな講義、粘土のおつき合いが始まりました。

初めての作品は、マグカップ。回を重ねるごとに腕は上達、花瓶、大皿、小皿、どんぶりなど、自分の個性を大切にイメージをふくらませ、楽しい作品となっています。とくに窯出しはドキドキです。



個性的な作品ができるといいですね

「自分の作品を家で使うのが最高」と。

これからも公民館の援助をいただきながら、学習を重ね、個性豊かな作品づくりをしていきたいと思っています。

問合せ 小林志げ美 ☎(43) 3649

【生涯学習グループ】

原稿募集

文化協会、体育協会などに所属するグループや自主学習グループの活動状況をお知らせください。

これから生涯学習を始められる市民の皆さんの参考にしたと思います。お寄せいただいた活動状況は、このコーナーで随時紹介していきます。

原稿提出要領

- ▼内容 生涯学習サークルの活動状況
- ▼字数 原稿用紙2枚(800字以内)
- ▼添付 活動の様子が分かる写真1枚
- ▼締切 6月30日(水)

提出・問合せ

生涯学習課 生涯学習担当

